



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 唐木一平 幹事 唐木 章 会報委員長 大石ひとみ 第2885回例会 2019.10.27 No.1545



2019-20年度 RI テーマ

Rotary Connects The World

2019-2020 年度 地区大会

於：まつもと市民芸術館

10月26日(土)・27日(日)
 国際ロータリー第2600地区2019-2020年度地区大会が古川静男ガバナー(松本西南 RC)の指揮の下、松本ロータリークラブがホストを務め、三がく(岳・楽・学)都松本へようこそと呼び掛け、まつもと市民芸術館に於いて開催された。



役員以外は27日早朝伊那、伊那中央 RC と共に大型バスで松本に向かった。伊那 RC の参加者は18名。

ガバナー挨拶 古川静男ガバナー



今年の2600地区の標語は「ロータリーの魅力を上げよう」と決めましたが、地区大会も同じ標語としました。ロータリーの魅力を上げるには、まずロータリーを知らなければなりません。地区大会のセレモニーもロータリアンがロータリーの組織を学ぶ機会として行われます。ロータリーの基本理念をしっかりと学び、人脈を広げて豊かな人生を過ごしてゆく。奉仕活動を通じて自らの心を磨き、同時に青少年活動を通じて地域社会の若者にもつながっていく。交換留学生や米山奨学生を通じて国際理解を深め、お互いに助け合う心を磨いていく。ロータリーでなければつながらない仲間と様々な活動により繋がっていく。まさにロータリーは素晴らしい団体であり、素晴らしい人々の集まりです。

今年の地区大会は、ロータリーデーとして記念講演に合わせ青少年アワーも市民の方々にご覧いただき青少年活動、米山奨学生制度への理解も深めていただ

く予定です。

RI 会長メッセージ伝達・RI 現状報告

RI 会長代理 水野 功様 (東京飛火野 RC)



マーク・ダニエル・マローニー RI 会長テーマと現状報告につきまして「ロータリーの友」にも載っており、皆様もお読みだと思うので別の話をしますと始まり、36才の多忙な年齢の時、東京飛火野ロータリークラブに入会、メイキャップで訪問した東京西ロータリーのホテルオークラでの逸話、その後ガバナーに選ばれるまでの話、そしてガバナーになって良かった経験などを「人とのつながり」を中心に話された。

また来年は日本にロータリーが出来て100周年、寄付とホノルルの世界大会への参加を呼びかけられた。

大会決議 委員長 関 邦則パストガバナー

1. 国際ロータリーのテーマを推進する件
2. RI 会長代理水野 功様ご夫妻に対する感謝の件
3. 直前ガバナー伊藤雅基氏に対する感謝の件

4. 2020年国際大会への参加を推進する件
5. 規定審議会の代表議員・補欠議員に関する件
6. 本大会の記念事業に関する件
長野県への寄付 松本市への寄付 ロータリー財団への寄付 米山記念奨学会への寄付
7. 本大会ホストクラブに対する感謝の件
8. 次期地区大会開催に関する件
長野県へは台風19号の災害に対し300万円の義援金を贈呈した。

各種表彰

地区ガバナー賞では在籍50年。現在92歳の長野ロータリー土屋会員が表彰された。

当クラブでは40年在籍の宮下光一会員、20年在籍の山田益会員が対象者

ガバナーエレクト紹介 古川静男ガバナー

成田守夫氏（上田西ロータリークラブ）

職業分類：専門学校

ガバナーノミニ紹介 古川静男ガバナー

桑澤一郎氏（茅野ロータリークラブ）

職業分類：自動車学校

それぞれ挨拶の後昼食に入った。

午後はロータリーデーとして一般市民も参加。

アトラクション

松商学園高校トワリングバトン部の演技



青少年アワー 「未来を創ろう・築こう」

インターアクト、ローターアクト、青少年交換留学生、米山記念奨学生、グローバル補助金奨学生が壇上へ上がり紹介された。



米山奨学生アワー



米山記念奨学生 OG の王莉莎さんが「母国と日本の架け橋になるために」現在日本の会社に就職して中国で真空ポンプの販売をしている。米山記念奨学金制度は他の奨学金制度にない、ロータリアンと接して奉仕の精神を知ることが出来る素晴らしい制度だと発表した。

記念講演 演題「可能性への挑戦」

講師 舞の海秀平氏

講演では冒頭「写真、録音、撮影はご遠慮下さい。裏話が漏れると困ります」と言われ、ここでは翌日の信濃毎日新聞の記事を転載します。

次期ホストクラブ紹介 古川静男ガバナー

2020-21 年度地区大会は上田ロータリークラブをホストとして2020年10月3日、4日に上田市サントミュージゼを主会場として開催します。

2019年(令和元年) 10月28日 月曜日

信 濃 毎 日

大相撲への挑戦 振り返る 舞の海さん 松本で講演



大相撲解説者で元小結の舞の海秀平さん(51)の講演会が27日、松本市であった。写真は、テーマは「可能性への挑戦」。県内54のロータリークラブ会員が集う「国際ロータリー第2600地区2019-20年度地区大会」の一環で、約1200人が聞いた。

舞の海さんは、身長が足りずに新弟子検査を1度不合格になったが、

頭にシリコンを入れて2度目で合格した。「小さくても工夫次第で戦えるかもしれないと考え、検査を突破する方法を粘り強く考えた」と振り返った。

現役時代は「厳しい中でも寛容でユーモアがあった」という親方に何度も助けられたといい「師匠や部屋のためにも強くなって恩返ししたい」と語った。自分よりはるかに体が大きいハワイ勢との対戦について「立ち合いでぶつかった時の衝撃は2ト以上。交通事故だった」と笑いを誘っていた。